



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場会社名 オーナンバ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5816 URL <http://www.onamba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木嶋 忠敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 宮本 敦浩 (TEL) 06-6976-6101
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	27,592	20.8	919	145.6	1,092	106.8	839	272.0
2020年12月期第3四半期	22,844	△14.9	374	△42.9	528	△19.3	225	△37.9

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 2,181百万円(—%) 2020年12月期第3四半期 △113百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年12月期第3四半期	68	88	—	—
2020年12月期第3四半期	18	52	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	31,301	55.4	17,800	55.4	—	—
2020年12月期	27,897	55.3	16,079	55.3	—	—

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 17,326百万円 2020年12月期 15,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年12月期	—	5.00	—	6.00	—	11.00
2021年12月期	—	6.00	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	6.00	—	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	35,000	11.5	1,100	44.4	1,200	22.1	1,000	90.7	82	06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年12月期3Q	12,558,251株	2020年12月期	12,558,251株
2021年12月期3Q	371,438株	2020年12月期	371,376株
2021年12月期3Q	12,186,847株	2020年12月期3Q	12,186,911株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1 当第3四半期における業績全般の動向

当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年9月30日）における当社グループの経営環境は、日本や中国など一部の地域で需要の回復傾向も見られましたが、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の再拡大、世界的な半導体不足や原材料価格の高騰による影響などにより、依然として先行き不透明で厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは本年を初年度とする中期経営計画「PROGRESS 2023」をスタートさせ、目標達成に向けて各種施策に取り組んでおります。また、新型コロナウイルス感染症への対応につきましても、国内及び海外（中国、アメリカなど7ヶ国13拠点）の各拠点において、引き続き従業員の感染リスクの低減と安全確保を図りながら、お客様への供給責任を果たすべく事業活動を実施しております。

各国の外出規制や操業停止などの公的な事業活動の制限や、お客様訪問の自粛など事業活動への影響が出ておりますが、国内外ともに影響を最小限に抑えるように日々努めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、自動車・産業機器用製品などの成長分野での需要が回復傾向にありましたが、直近では半導体不足による自動車メーカーの減産影響、東南アジアでの新型コロナウイルス感染症再拡大による工場の稼働制限に伴う生産・販売への影響等が出てきております。そのような状況の中、自動車・産業機器用製品などの分野での製品開発・新規開拓の促進などに取り組んできた結果、ワイヤーハーネス部門、ハーネス加工用機械・部品部門の売上が増加し、売上高は前年を上回りました。

利益面では、売上高の増加に加え、販売品種構成の良化、積極的な原価低減活動及び販管費の抑制などに取り組みました。一方で、銅価格や物流費の影響に加え、東南アジアでの新型コロナウイルス感染症再拡大による工場の稼働制限に伴う生産・販売への影響等はあったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年を上回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,592百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益は919百万円（同145.6%増）となり、経常利益は1,092百万円（同106.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は839百万円（同272.0%増）となりました。

2 セグメントの業績

期別 セグメント別	売上高			営業利益		
	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
日本	12,882	15,847	23.0	△ 46	548	—
欧米	5,332	6,161	15.5	59	△ 111	—
アジア (日本を除く)	4,629	5,583	20.6	326	544	66.7
消去	—	—	—	35	△ 62	—
合計	22,844	27,592	20.8	374	919	145.6

(注) 増減率につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

①日本

当第3四半期連結累計期間は、自動車・産業機器用製品などの成長分野での需要が回復傾向にありましたが、直近では東南アジアでの新型コロナウイルス感染症再拡大による海外工場の稼働制限の影響等が出てきております。そのような状況の中、自動車・産業機器用製品などの分野での製品開発・新規開拓の促進に取り組んできた結果、ワイヤーハーネス部門、ハーネス加工用機械・部品部門の売上が増加し、売上高は15,847百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

売上高の増加に加え、販売品種構成の良化、積極的な原価低減活動及び販管費の抑制に取り組まれました。一方で、銅価格や物流費の影響に加え、東南アジアでの新型コロナウイルス感染症再拡大による海外工場の稼働制限に伴う影響はあったものの、営業利益は548百万円（前年同期は46百万円の営業損失）となりました。

②欧米

当第3四半期連結累計期間は、半導体不足による自動車メーカーの減産の影響が顕著となり、自動車用製品などのワイヤーハーネス部門の売上への影響がありましたが、前年同期は新型コロナウイルス感染症の影響でメキシコ工場の閉鎖があったため対前年同期では増収となり、売上高は6,161百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

しかしながら、世界的なコンテナ不足による物流費の増加、銅価格等材料高騰に加え、自動車メーカーの減産による販売への影響などにより、営業損失は111百万円（前年同期は59百万円の営業利益）となりました。

③アジア（日本を除く）

当第3四半期連結累計期間は、中国市場などの地域で需要の回復が見られるなど、自動車・産業機器用製品などのワイヤーハーネス部門の売上が堅調に推移し、売上高は5,583百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

売上高の増加に加え、積極的な原価低減活動及び生産効率化による量産効果などにより、東南アジアでの新型コロナウイルス感染症再拡大による工場の稼働制限に伴う影響はあったものの、営業利益は544百万円（前年同期比66.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

<資産>

資産合計は、31,301百万円（前期末比3,404百万円増）となりました。主に、受取手形及び売掛金1,138百万円、たな卸資産1,607百万円、有形固定資産359百万円及び投資その他の資産1,081百万円が増加し、現金及び預金が888百万円減少いたしました。

<負債>

負債合計は、13,501百万円（前期末比1,683百万円増）となりました。主に、支払手形及び買掛金1,256百万円、繰延税金負債304百万円及び長期借入金328百万円が増加し、短期借入金457百万円が減少いたしました。

<純資産>

純資産合計は、17,800百万円（前期末比1,721百万円増）となりました。主に、利益剰余金692百万円、その他有価証券評価差額金698百万円及び為替換算調整勘定564百万円が増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2021年7月30日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,381,948	4,493,595
受取手形及び売掛金	8,434,238	9,572,350
商品及び製品	1,904,472	1,795,653
仕掛品	923,052	1,088,108
原材料及び貯蔵品	3,035,917	4,587,336
その他	622,275	697,110
貸倒引当金	△4,242	△4,199
流動資産合計	20,297,662	22,229,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,333,451	1,319,302
機械装置及び運搬具（純額）	1,273,059	1,372,289
土地	1,882,910	1,890,215
建設仮勘定	300,853	729,154
その他（純額）	598,198	437,375
有形固定資産合計	5,388,474	5,748,337
無形固定資産	482,101	512,430
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,793,554	2,875,289
貸倒引当金	△64,230	△64,148
投資その他の資産合計	1,729,324	2,811,141
固定資産合計	7,599,900	9,071,909
資産合計	27,897,563	31,301,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,350,016	6,606,194
短期借入金	2,084,924	1,627,809
未払法人税等	87,015	128,431
賞与引当金	218,135	410,297
役員賞与引当金	-	24,000
製品改修引当金	10,372	10,372
その他	1,369,567	1,430,888
流動負債合計	9,120,032	10,237,994
固定負債		
長期借入金	1,546,224	1,874,884
繰延税金負債	296,104	600,438
退職給付に係る負債	504,914	535,075
その他	351,061	252,964
固定負債合計	2,698,304	3,263,362
負債合計	11,818,336	13,501,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	2,011,437	1,936,551
利益剰余金	10,938,180	11,630,915
自己株式	△160,402	△160,448
株主資本合計	15,112,274	15,730,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	295,748	994,049
為替換算調整勘定	51,323	615,731
退職給付に係る調整累計額	△30,592	△13,144
その他の包括利益累計額合計	316,478	1,596,636
非支配株主持分	650,473	473,792
純資産合計	16,079,226	17,800,507
負債純資産合計	27,897,563	31,301,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	22,844,423	27,592,300
売上原価	18,947,001	22,864,578
売上総利益	3,897,421	4,727,721
販売費及び一般管理費	3,522,944	3,808,124
営業利益	374,477	919,597
営業外収益		
受取利息	17,337	21,817
受取配当金	17,351	27,475
為替差益	-	33,395
補助金収入	970	19,496
助成金収入	181,303	39,954
関係会社清算益	-	31,656
その他	58,532	85,177
営業外収益合計	275,495	258,973
営業外費用		
支払利息	38,271	26,489
持分法による投資損失	15,294	27,722
為替差損	36,921	-
その他	31,115	31,839
営業外費用合計	121,602	86,052
経常利益	528,370	1,092,518
特別利益		
固定資産売却益	3,123	8,541
特別利益合計	3,123	8,541
特別損失		
固定資産処分損	6,913	4,936
感染症関連損失	196,226	34,323
特別損失合計	203,140	39,260
税金等調整前四半期純利益	328,353	1,061,799
法人税、住民税及び事業税	140,022	244,314
法人税等調整額	△7,275	△33,920
法人税等合計	132,746	210,393
四半期純利益	195,606	851,406
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,040	12,023
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,647	839,383

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	195,606	851,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129,714	698,301
繰延ヘッジ損益	△1,676	-
為替換算調整勘定	△164,362	614,551
退職給付に係る調整額	△13,698	17,448
その他の包括利益合計	△309,453	1,330,300
四半期包括利益	△113,846	2,181,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,277	2,119,541
非支配株主に係る四半期包括利益	△44,568	62,165

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

ASLE ELECTRONICS (CAMBODIA) CO., LTD. は、2021年3月5日に清算終了したことから、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
外部顧客への売上高	12,882,371	5,332,299	4,629,751	22,844,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,626,259	56,922	3,613,670	6,296,852
合計	15,508,631	5,389,221	8,243,422	29,141,275
セグメント利益又は 損失(△)	△ 46,841	59,055	326,619	338,832

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	338,832
セグメント間取引消去	35,644
四半期連結損益計算書の営業利益	374,477

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
外部顧客への売上高	15,847,807	6,161,334	5,583,158	27,592,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,927,066	67,990	4,464,960	8,460,017
合計	19,774,873	6,229,325	10,048,118	36,052,317
セグメント利益又は 損失(△)	548,859	△ 111,078	544,413	982,194

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	982,194
セグメント間取引消去	△ 62,596
四半期連結損益計算書の営業利益	919,597